

みずほCustomer Desk Report 2017/06/02 号 (As of 2017/06/01)

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.94 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.81	1.1240	124.53	0.9683	1.2876	0.7426
SYD-NY High	111.48	1.1257	125.09	0.9720	1.2916	0.7455
SYD-NY Low	110.72	1.1202	124.48	0.9672	1.2830	0.7372
NY 5:00 PM	111.35	1.1213	124.86	0.9717	1.2880	0.7375
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.05/8.425		Δ25RR	1.383	Yen Call Over	
NY DOW	21,144.18	135.53	債券市場	日本2年債	-0.1610	▲0.3bp
NASDAQ	6,246.83	48.31		日本10年債	0.0470	▲0.2bp
S&P	2,430.06	18.26		米国2年債	1.2898	0.8bp
日経平均	19,860.03	209.46		米国5年債	1.7615	1.0bp
TOPIX	1,586.14	17.77		米国10年債	2.2114	0.9bp
シカゴ日経先物	19,935.00	260.00		独10年債	0.3050	0.1bp
ロンドンFT	7,543.77	23.82	為替市況	英10年債	1.0730	2.7bp
DAX	12,664.92	49.86		豪10年債	2.3960	0.9bp
ハンセン指数	25,809.22	148.57	商品市況	USD/CNH	6.7500	0.0038
上海総合	3,102.62	▲14.55		ドルインデックス	97.20	0.28
USDJPY 3M Vol	8.54	▲0.10%		CRB指数	179.090	▲0.68
USDJPY 6M Vol	9.22	▲0.04%		NY金	1,270.10	▲5.30
EURJPY 3M Vol	9.16	▲0.18%		WTI	48.36	0.04
EURJPY 6M Vol	10.29	▲0.08%		Dubai Spot	49.72	0.24

東京	ドル円は、先ア7時に安値110.72をつけたものの、その後は110円台後半で堅調に推移し、110.81レベルで東京時間オープン。高寄りした日経平均株価が上げ幅を拡大させ、米金利も上昇する中、ドル円は強含みに推移して111.05をつけた。発表された豪4月小売売上高が予想を上回り、豪ドルが対ドル・対円ともに強含んだことも相場をサポートした。しかし、その後発表された中国5月Caixin製造業PMIが50.0を下回り約1年ぶりの低水準となったことで、日経平均株価が上げ幅を縮小させると、再び110円台後半まで下落した。但し、ドル円相場は明確な方向感が出るほどの材料を欠く中、午後に入ると111.00を中心としたレンジ推移となる。結局、ドル円は東京時間高値111.09をつけた後、111.00レベルで海外に渡った。尚、前日に大きく上昇した中国人民幣元は、一段と元高が進行。朝方発表された人民元の対ドル基準値が前日の同値と比較して約0.8%と大幅に元高方向に設定されたこと等が意識され、オーストラリア人民元は6.77元近辺から6.72元台と昨年10月以来の水準まで元高が進行した。しかし、その後は6.74元台半ばまで戻す値幅の伴う値動きとなった。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.00レベルでオープン。ADP雇用統計やISM製造業景況指数等の米経済指標の発表を控えて様子見ムードの中、小動き。結局ドル円は111.15レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2849レベルでオープン。英5月製造業PMIが56.7と予想(56.5)を上回ったことで、1.2889まで上昇するも、保守党が国政選挙で過半数の議席を維持できない可能性が浮上する中、首相候補として、労働党首・コービン氏の支持率がメイ首相を上回る世論調査(YouGov、対象地域:ロンドン)が発表されると、不透明感が強まり、1.2830まで下落。結局ポンドドルは1.2857レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は111.15レベルでNYオープン。朝方発表された米5月ADP雇用統計が予想を大幅に上回り、2日(金)発表の米5月雇用統計に対する期待が高まるとドル買いが強まり、ドル円は高値111.48まで上昇。パウエルFRB理事が「2017年はあと2回の利上げが適切」と発言したものの、市場への影響は限定的。その後、ADP雇用統計発表後に上昇した金利が上げ幅を縮小させる動きにドル円は111.16まで下落。午後に入り米株が一段と上げ幅を拡大する動きを横目に、ドル円は111円台前半で底堅く推移し、111.35レベルでクロスした。日中は、「前-FBI長官、6月8日に上院情報特別委員会 で証言」「トランプ大統領が「パリ協定離脱を正式表明」との報道が伝わるが、市場の反応は見られなかった。なお、本日米株は主要3指数すべて終値ベースで史上最高値を更新した。一方ユーロドルは1.1218レベルでNYオープン。強い米5月ADP雇用統計を受けてドル買いが強まるとユーロドルは安値1.1202まで下落。しかし、シュイブル独財務相の「ECBの金融政策はドイツにとって緩和的過ぎる」との発言を受けて1.1235まで反発。新規材料に欠く、ユーロドルは1.1220付近でのレンジ推移が続き、1.1213レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:伊藤・坂本

[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
6月1日	8:50	対内・対外証券投資	-	-
	9:10	ウィリアム・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-
	10:45	Caixin製造業PMI	5月 49.6	50.1
	16:55	マークイット製造業PMI (確報)	5月 59.5	59.4
	17:00	マークイット製造業PMI (確報)	5月 57.0	57.0
	21:00	パウエルFRB理事 講演	-	-
	21:15	ADP雇用統計	5月 253K	180K
	21:30	新規失業保険申請件数	- 248K	238K
	23:00	ISM製造業景況指数	5月 54.9	54.8

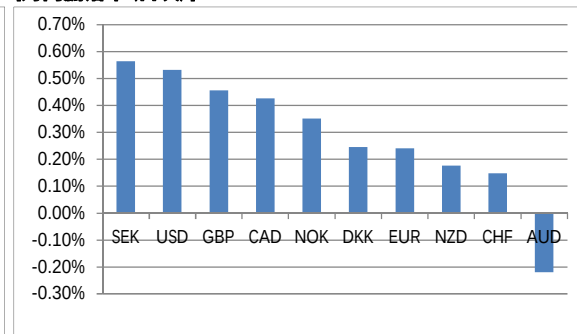
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
6月2日	21:30	非農業部門雇用者数変化/失業率	5月 182K/4.4%	211K/4.4%
	21:30	平均時給(前月比/前年比)	5月 0.2%/2.6%	0.3%/2.5%
	21:30	貿易収支	4月 -\$46.1B	\$43.7B
6月3日	1:45	ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	2:00	カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00-112.00	1.1150-1.1250	124.00-126.00

[マーケットインプレッション]

昨日の海外市場ではドル円相場は上昇。米国時間に発表された米5月ADP雇用者数が市場予想を大きく上回ったことを好感し、米金利上昇と共にドル買いが優勢となるも、111円台半ばでは相応に売り圧力も強く、次第に上値が重くなる展開に。本日のドル円相場は米国株式市場が高値を更新する中、日経平均も底堅く推移するものと見込まれ、総じて底堅い展開を予想する。一方で、今晚米国時間に発表される雇用統計を控え、次第に動意を失っていくものと思われる。